

令和 7 年 6 月 6 日

第339号

〔発行〕 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長 いすゞ自動車株式会社 藤沢工場
編集 藤 沢 支 部 広 報 部 会
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

2025年度 通常支部総会開催される

2025年5月16日(金) 於：藤沢商工会議所ミナパーク3階



(公社) 神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の通常支部総会は57社出席の下、148社の委任状を合わせ、支部規約第20条、総会員数の2分の1以上の確保を以って成立し開催されました。来賓に藤沢労働

基準監督署より松下署長と李野安全衛生課長、協会本部より古谷専務を迎え、森支部長による開会挨拶をいただいた後、第1号議案から第5号議案まで滞りなく決議承認されました。

その後「無災害事業場表彰」を行いました。これは令和4年から令和6年の3年間に無災害を達成した従業員数100人未満の会員事業場に贈るもので、本年度は1事業場が対象となりました。事

業場代表者の出席を賜り、森支部長より表彰状が授与されました。

続いて、藤沢支部の功労者4名に対して「支部功労者表彰」が行われました。

来賓を代表して松下署長から祝辞と、最近の労働行政の課題についてお話をいただきました。

まず、第14次労働災害防止計画の2年目にあたり、重要事項である死亡災害と休業災害の発生状況について触れ、管内で昨年9月以降発生していない死亡災害ゼロの継続と休業災害の減少に向け、安全で健康に働く事の出来る職場づくりの推進を、より一層進めていくようお話しされ、各事業所に協力を要請されました。最後に本協会藤沢支部、ならびに本日参加の皆様のご健勝を記念したいと述べられ、本総会を締めくくりました。

新明和工業(株) 高松 信英



2024・2025年度(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン

ゼロ災害 繋げるバトン 広げる輪
未来へ遺そう安全文化

<スローガン入選作品：いすゞ自動車(株) 藤沢工場 山崎 裕太氏>

就任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
署長 松下 秀巳



令和7年4月1日付けで藤沢労働基準監督署長に就任しました松下と申します。

神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の会員事業場の皆様には、日頃から労働基準行政の推進につきまして格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

藤沢労働基準監督署の勤務は初めてとなりますが、管内は京浜工業地帯にありながらも観光地でもあるという所に他署にはみられない特長があるのではないかと感じております。

さて、神奈川労働局では「すべての人がいきいきと働くかながわを目指して」、令和7年度は「最低賃金の引き上げに向けた中小企業・小規模事業主の生産性向上のための支援」「多様な人材の活躍と魅力ある職場づくり」等を重点施策としております。これを受け、藤沢労働基準監督署では最低賃金引き上げに向けた支援、長時間労働の抑制、第14次労働災害防止推進計画の推進等について、会員事業場の皆様のご協力をいただきながら推進してまいります。今後も引き続きよろしくお願いいたします。

着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
安全衛生課長 空野 彰紀



4月1日付けで藤沢労働基準監督署安全衛生課長として着任いたしました空野(もくの)と申します。

昨年度までは、平塚労働基準監督署で勤務しており、藤沢労働基準監督署の配属は初めてとなります。

さて、本年は14次労働災害防止計画（藤沢労働基準監督署計画）の3年目となり中間年度となります。

目標の達成に向けた監督署の各施策には、役員事業場を始めとした会員事業場の皆様のご協力が必要不可欠になります。

いかなる理由があっても起こってはならない死亡災害を撲滅し、労働者一人ひとりが安全で健康に働くことができる職場環境の実現のため、取組を推進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
労災課長 長島 賢次



4月1日付けで藤沢労働基準監督署労災課長として着任しました長島と申します。

昨年度までは平塚労働基準監督署の労災課で勤務しており、藤沢労働基準監督署の勤務は初めてとなります。

私事ですが、藤沢労働基準監督署の管内には海水浴場や神社仏閣も多く、風光明媚な場所がたくさんあるので、年に3、4回は観光に来ており、馴染み深い場所です。

業務では、適用事業場数が県下3番目に多く、職員数に比べて業務量も多い署となっております。また、過労死等事案や石綿関連疾患事案も年々増加傾向にあります。

この様な中ではございますが、不幸にして労災請求に至った被災労働者の方々に対しては、迅速かつ公平な保護に努めてまいりたいと思っておりますので、1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
第二方面主任 千代 晃司



4月1日付けで藤沢労働基準監督署第二方面主任として着任しました千代(せんだい)と申します。

昨年までは神奈川労働局雇用環境・均等部企画課に勤務しておりました。藤沢労働基準監督署は初めての勤務となります。どうぞ、よろしくお願い致します。

藤沢労働基準監督署管内は、国内外から注目される観光スポットも多く、第3次産業が盛んな地域という印象があります。

神奈川労働局の令和7年度重点施策では「すべての人がいきいきと働くかながわを目指して」と謳われております。この施策目標の下、管内の特徴を踏まえつつ、みなさまが安全に、そして健康に働けるよう業務に努めてまいりたいと思っております。

一年間、どうぞ、よろしくお願い致します。

着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
第三方面主任 **和田 琢也**



4月1日より藤沢労働基準監督署の第三方面主任として着任いたしました和田と申します。

藤沢労働基準監督署の第三方面の所掌事務は、監督署の一般業務（監督指導や災害調査、許認可事務など）のほか、運輸交通業対策

（労務関係）、障害者である労働者・外国人労働者の労務関係、最低賃金・家内労働関係です。

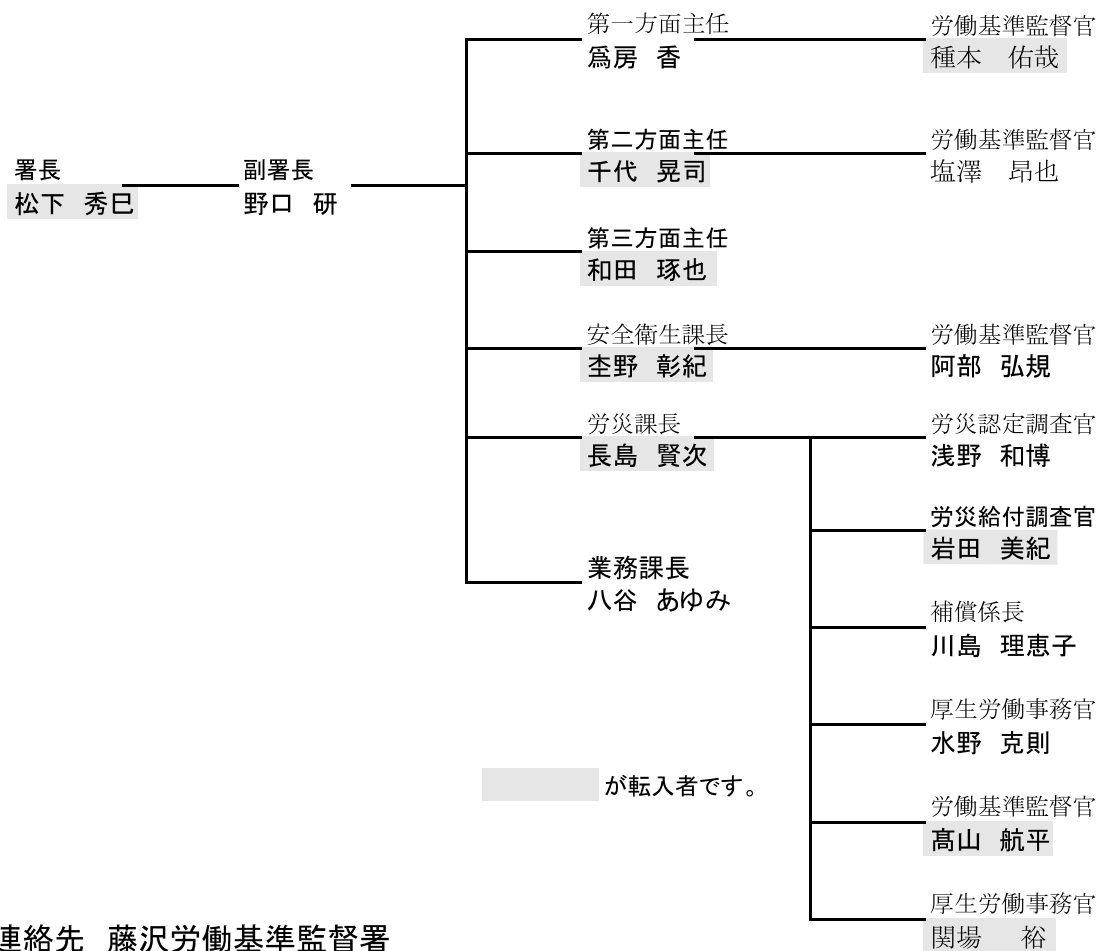
藤沢労働基準監督署での勤務は初めてですが、茅ヶ崎市、藤沢市については私が生まれ育った場所であり、用務で外出する度に街並みの変化に驚きつつも、見慣れた風景への懐かしさも感じております。労働基準監督官の職務は広域の異動を伴うものですが、その中で生まれ育った場所で働けることについて、喜びを感じております。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

藤沢労働基準監督署からのお知らせ

【藤沢労働基準監督署組織図】

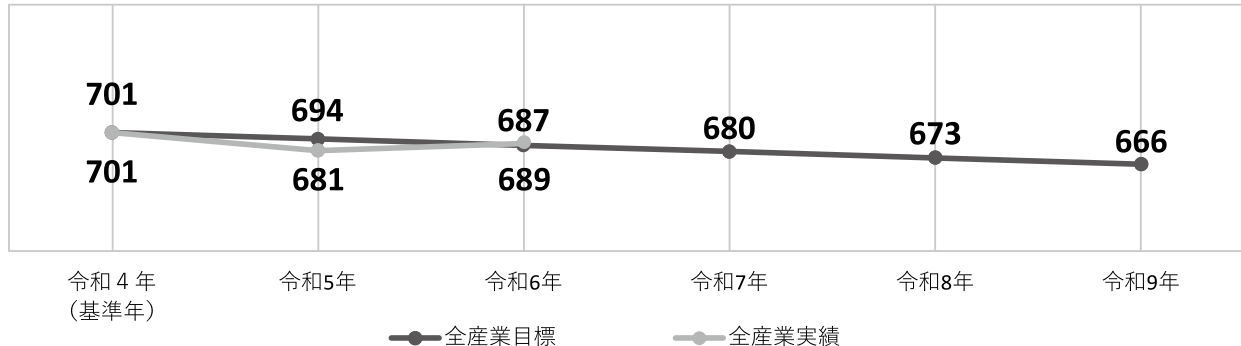
令和7年4月1日付けで当署の組織が下記のとおりになりました。



連絡先 藤沢労働基準監督署
〒251-0054 藤沢市朝日町5-12 藤沢労働総合庁舎3階

◇方面（監督・労働条件関係） 0466-23-6753
◇安全衛生課（安全衛生関係） 0466-97-6748
◇労災課（労災保険関係） 0466-97-6749
◇総合労働相談コーナー 0466-23-7223
FAX 0466-23-4288

第14次労働災害防止推進計画の経過について (2年目終了時点・令和7年5月)



新型コロナウイルス感染症による災害発生件数を除いています。

グラフ1

第14次労働災害防止推進計画は、令和9年までに令和4年の休業4日以上死傷災害を5%減少させることを目標に災害防止の各種取組をお願いしています。令和4年を基準年とし、令和5年からスタートした第14次労働災害防止推進計画においては、第13次労働災害防止計画において目標達成の妨げとなった「行動災害」の増加に対して、事業者や労働者における意識高揚を図るべく、自発的取り組みを促す施策が盛り込まれています。

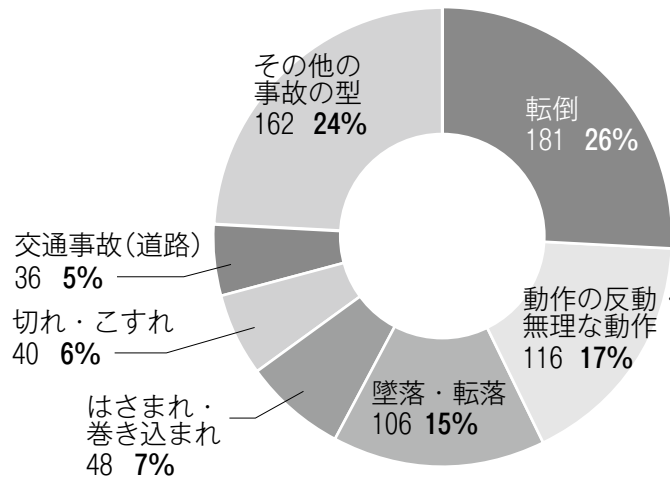
【アウトカム指標】

※死傷災害にかかわる目標は、新型コロナウイルスへのり患によるものを除いて決定した。

労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策		基準年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
転倒の死傷者数を令和4年と比較して令和9年までに増加に歯止めをかける。	179人以下	179人	205人	181人	人	人	人
	災害に占める割合26%以下	26%	30.1%	26.3%			
転倒による平均休業見込み日数を令和9年までに35日以下とする。	35日以下	38.3日	39.5日	37.8日			
社会福祉施設における腰痛の死傷者数を令和4年と比較して令和9年までに減少させる。	20人以下	20人	39人	15人	人	人	人
	社会福祉施設の災害に占める割合17%以下	20%	22.0%	15.1%			

化学物質等による健康障害防止対策		基準年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
化学物質の性状に関連の強い死傷災害の件数を第13次防期間として比較して令和4年から令和9年までの5年間で、5%以上減少させる。	5年間の合計が7人以下		2人	2人	人	人	人
熱中症による死傷者数を第13次防期間と比較して減少させる。	5年間の合計が21人以下		6人	11人			

高齢労働者の労働災害防止対策		基準年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
60歳以上の労働者による死傷者数を、令和4年と比較して令和9年までに増加に歯止めをかける	163人以下	163人	224人	185人	人	人	人
	災害に占める割合26%以下	23%	32%	26.9%			



グラフ2 事故の型分類

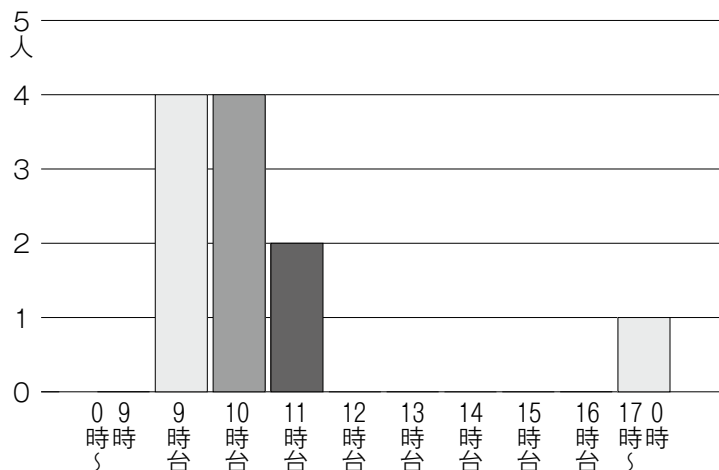
その他の事故の型内訳

○激突され	29件
○激突	27件
○高温・低温の物との接触	24件
○飛来・落下	23件
○崩壊・倒壊	4件
○踏み抜き	3件
○上記以外	52件

グラフ2の令和6年における事故の型別発生状況では、転倒は181件（26%）と最も多く、次いで、動作の反動・無理な動作116件（17%）、墜落・転落106件（15%）の順となっています。転倒（令和5年205件）、反動・無理な動作（令和5年133件）は令和5年と比べ減少しましたが、この2つの事故の型の災害で297件・43%となり、大きな割合を占めています。重篤な災害につながりやすい墜落・転落災害は令和5年の81件から大幅に増加しています。

転倒災害については、神奈川労働局ホームページ「STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川」を参考とした職場における転倒災害リスクの排除に向けた取り組みや、転倒災害に関する労働者への教育や啓発等の意識高揚に向けたより一層の取り組みをお願いします。

※「STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川」では、神奈川県内の事業場の取組事例も紹介しています。（右QRコード）



グラフ3 熱中症発生状況

熱中症による業種別発生件数

○警備業	2件
○その他の廃棄物処理業	2件
○非鉄金属製造業	1件
○土木工事業	1件
○その他の建設業	1件
○小売業	1件
○通信業	1件
○娯楽業	1件
○その他の事業	1件

グラフ3は令和6年における熱中症による休業4日以上労働災害数を時間帯別に示しています。令和6年の熱中症（休業4日以上）の発生件数は11件と令和5年の6件から2倍近い件数となりました。業種別にみると、警備業や廃棄物処理業、建設業等の屋外作業での業種が大部分となりましたが、屋内作業の業種でも発生しています。時間帯では、1件を除き午前中に発生しているところが特徴的であり、朝食の摂取を含め、午前中から積極的に水分・塩分補給を実施することや前日からの疲労度を考慮した業務配分、健康管理が必要と考えられます。

※熱中症を生ずるおそれのある作業についての労働安全衛生規則の一部を改正する省令、ほか「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」の内容は厚生労働省のホームページを確認ください。（右QRコード）



2024年藤沢支部無災害事業場紹介

藤沢支部では、労働災害防止活動の一環として「無災害事業場表彰制度」を設けております。

この制度は、業種を問わず、100人未満の会員事業所を対象とし、3年以上にわたり無災害を継続している事業所から申請に基づき、表彰を行うものです。

2024年は、1事業所がこの要件を満たし、5月16日の通常支部総会にて表彰されました。

【敬称略】

無災害事業所 会社名	代表者氏名
藤沢生コン株式会社	梶山 勝久



藤沢生コン株式会社

弊社は、高品質で安定した生コンクリートの製造販売を通じて、地域社会の発展に寄与できるよう日々邁進しています。昨年から本年にかけて製造プラントの更新工事を進めており、社員はもとより、工事に関わる全ての関係者の無災害にも注力しています。弊社は、一昨年認証を受けた「ふじさわSDGs共創パートナー」の一員として、17あるゴールのうち、「8. 働きがいも経済成長も」で提唱されている「安全・安心な労働環境の提供」へ積極的に取り組み、職場全員の自主性や協調性を最大限に活かすよう努めています。

今後とも関係各位の御支援、御理解を頂きながら、無災害の継続を目指して参ります。

2024年度 支部功労者表彰



5月19日の通常支部総会にて

(表彰者は4名 感謝状を手を持っている方、左より 敬称略)

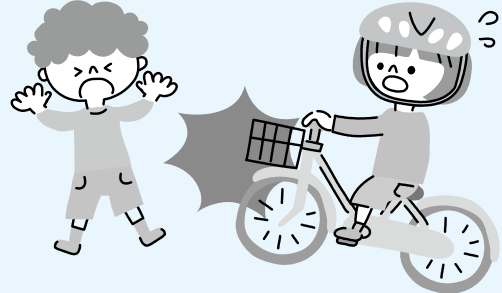
オイレス工業(株) 藤沢事業場	斎藤 恵
J X 金属(株) 倉見工場	森 正澄(欠席)写真は代理出席の富久尾 剛
アズビル(株) 藤沢テクノセンター	田嶋 直樹
(株)荏原製作所 藤沢事業所	白井 良明

自転車交通安全教育動画のお知らせ

藤沢支部会員様の特典

自転車交通安全教育動画を視聴できます。
新入社員や自転車通勤者等への
交通安全教育にご活用ください。

3月24日メール配信のご案内より確認できます。
お問い合わせは藤沢支部まで



〔当面の支部行事予定 6－8月〕

第1回	粉じん作業特別教育	6月3日(火)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
第1回	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	6月17日(火)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
第2回	職長教育	6月24日(火)～6月25日(水)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
第1回	衛生推進者養成講習	7月2日(水)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
第1回	安全衛生推進者養成講習	7月2日(水)～7月3日(木)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
第1回	KYT(危険予知訓練)研修	7月17日(木)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
第3回	職長教育	7月30日(水)～7月31日(木)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室
第1回	リスクアセスメント研修	8月28日(木)	会場：藤沢市建設会館 4階大会議室

全国安全週間・労働衛生週間地区推進大会行事予定

○第98回	全国安全週間湘南地区推進大会	6月12日(木)	藤沢市民会館小ホール
○第76回	全国労働衛生週間湘南地区推進大会	9月4日(木)	藤沢市民会館小ホール

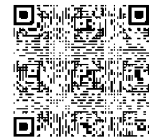


労働保険のお知らせ

令和7年度・労働保険（労災保険・雇用保険）の
確定・概算申告と保険料等の納付はお早めに。

申告・納付期間は6月2日(月)～7月10日(木)です。

詳しい内容はこちらから →



労働保険の申請は便利な電子申請で！



検索

労働保険の電子申請

お問い合わせは、神奈川労働局 総務部 労働保険徴収課 …… 電話 045-650-2803

安・健・快 雑感

私の運動習慣は小学校の少年野球から始まり、中学・高校では陸上部で中・長距離を競技していました。大学進学後は運動の機会が減り、社会人になってからはウインドサーフィンを10年間続けましたが、その後は運動をしなくなりました。娘が小学校低学年の頃は一緒に運動する機会がありましたが、それ以降は再び運動不足に陥りました。30歳までは問題なく体を動かしていましたが、年齢を重ねるごとに体が思い通りに動かなくなり、今年度はジョギングができるように体づくりをする1年にしたいと考えています。過去の運動経験から、運動を続けることの重要性を痛感しており、特に陸上部での経験は体力と精神力を鍛える上で

非常に有益でした。しかし、社会人になってからの運動不足が現在の健康状態に影響を与えていることは明らかです。今年度は無理のない範囲でウォーキングから始め、徐々にジョギングに移行する計画を立てています。目標は週に3回、30分程度のジョギングを継続することです。また、食事にも気を配り、バランスの取れた食生活を心がけることで健康を取り戻したいと考えています。健康の重要性を再認識し、運動不足が原因で体調を崩すことがないように、今年度はしっかりと体づくりに取り組み、健康な生活を送ることを目指し、健康を取り戻すための努力を続けていきたいと思っています。

三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ株式会社
小山 哲郎

〔編集後記〕

私の実家は石川県の能登町というところです。昨年1月1日、大地震に見舞われニュースなどで聞いたことがあるのではないのでしょうか。

18歳まで能登に住んでいましたが、記憶にある地震は3回しかありません。18歳で上京して首都圏の地震の多さに驚いたものです。ですがここ数年、能登半島は震度5以上の地震に何度も襲われ警戒はしておりましたが、昨年の地震には驚きました。

実家には90歳を超える父が一人で暮らしていました。築50年の実家もかなりダメージを受け、もう住めない状況に…。姉と二人で昨年の秋に片付

けに行ったのですが手に負えず、ボランティアの方をお願いしました。このボランティアの方達が素晴らしかった！少しの説明で多くを理解していただける方ばかりでかなり助けられました。数か月不在だった家は悪臭（特に冷蔵庫）漂う場所もありましたが、嫌な顔一つ見せずに黙々と作業していただきました。

大変感謝しております。この恩を忘れずに、災害が起こらないことを願いますが、どこかで何かあった時には恩をお返しできるようにしたいと思っています。

モリタ宮田工業(株) 茅ヶ崎工場 石田 朱美